

学習スケジュール（開講期間）

※2級の学習には3級レベルの知識が必要です。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	3級2級W受験（5月開講）										
	3級（5月開講）										
			2級（7月開講）								

迷っているならまずは簿記から！大学生から選ばれる理由

■簿記検定とは

簿記のルールはビジネスの場において必要とされる知識です。習得することで企画書作成やプレゼンテーションをおこなう際、また、リーダーや管理職として仕事を進めていく際に数値を根拠として論理的に考えたり、説明したりすることができるようになります。さらに、簿記を理解することで経済ニュースなどの理解度も高まり、業種・職種を問わずその知識を活用することができます。



取引（日々の活動）



記録（分類・整理）



報告



（Q. 将来、めざしたい方向がいまいちピンと来ていません。
どんな企業に就職しても使える資格など、まず何からはじめればいいですか？）

A. 簿記はどのような企業に就職する場合でも役立ちます。“迷ったら”取得を検討してほしい資格です！

ほとんどの企業活動において必要不可欠とされる**2つの考え方**を理解できるため、幅広く活用ができます。

財政状態：会社にお金がいかにあるのか

資産、負債および資本の状態のこと。資金をどのように集め、その資金をどのように使っているのかを簿記で学ぶ「**貸借対照表**」を用いて示している。

経営成績：一定期間内にどのくらいの利益（損失）があるのか

一定期間の収益や費用ならびに利益もしくは損失の状況のこと。一定期間に得た利益または損失がどのような原因でいくらか生じたのかを簿記で学ぶ「**損益計算書**」を用いて示しており、利益または損失は一定期間の収益と費用の差額として計算される。

財政状態

と 経営成績

の考え方が**理解**できるようになるとこんなシーンで**役に立ちます！**

企画書作成やプレゼンテーションで 説得力のある内容を作成したい

Aさんはある企画案作成にあたり、上司からその具体性について改善指示を受けていた。そこで簿記の知識を活用し、企画に必要な数値データを収集の上、費用対効果を示した企画書を作成した結果、企画案が採用されることになった。

企業の業績を上げる方法を探したい

Aさんが考えた企画案は好調であったが、採用コストに改善の必要性があることを確認した。そこで、Aさんは業務フローへのAI導入案を企画に盛り込むことにより継続的な利益の向上に繋げることができた。

損益計算書

費用	収益
利益	

簿記の知識があると /

企業の数値を根拠として論理的に考えたり、企画内容の業績をシミュレーションすることができるため根拠のある資料作成や説明ができるようになります。

簿記の知識があると /

企業活動における利益・損失の動きが見えるため、問題点がどこにあるのかを判断できるようになります。

簿記検定を取得するメリット

メリット
1

2級取得で企業からの評価もアップ

メリット
2

さまざまなビジネスシーンで直接的・間接的に役立つ

メリット
3

業績把握やその分析を通じて、業務改善や営業戦略にも活かせる

メリット
4

就職活動をはじめ、社内のキャリアアップや転職時にも有利

メリット
5

身につけた知識を他の資格に活かせるから選択肢が広がる